

Press release

アーマセルが日本の柔軟弾性発泡ゴム保温材の **JIS 標準案** を起案し、正式に制定

ルクセンブルク / 東京、2022 年 1 月 11 日 - 日本の経済産業省は、柔軟弾性発泡ゴム保温材に関する新しい **JIS** 規格を発表した。柔軟性設備用断熱材市場のグローバルリーダーであり、エンジニア発泡材の大手メーカーである **Armacell** は、**JIS A9516** 規格の策定に大きく貢献した。

柔軟弾性発泡ゴム保温材は配管、暖房、換気、空調、冷蔵 (HVAC&R) 用途で使用され、商業ビル、工業施設、船舶といった様々な施設で取り入れられており、**JIS** 規格の制定により、柔軟弾性発泡ゴム保温材の品質の客観的評価が可能となった。

1954 年に当素材が発明されて以来、アーマセルは世界中のさまざまなプロジェクトで専門知識と効率性を発揮してきた。

「当社の豊富なノウハウを活用し、日本の発展に貢献できることを嬉しく思う。**JIS A9516** は、この保温材に関する高品質な規格を確立し、建築・建設業界における利用普及に役立つだろう」と述べた。アーマフレックス®は柔軟弾性発泡ゴム保温材として知られており、普及によって建設現場の作業環境の改善や工期の短縮につながる」と、アーマセルの日本のゼネラルマネージャーである安村義彦は述べる。

ArmaFlex は **Armacell** の登録商標であり、日本では **ArmaFlex Airduct**、**ArmaFlex Class 0**、**ArmaFlex Class 1** など、日本で販売しているすべての製品が **JIS A9516** に準拠している。

-ends-

Armacell について

Armacellは、機器の絶縁性に柔軟なフォームの発明者であり、エンジニアリングされたフォームのリーディングプロバイダーとして、革新的で安全な熱、音響、機械ソリューションを開発し、顧客に持続可能な価値を生み出します。Armacellの製品は、世界のエネルギー効率に大きく貢献し、世界中で日々の違いを生み出しています。16カ国に3,000人以上の従業員と24の生産工場を持つ同社は、最先端の発泡保温材とエンジニア発泡材の2つの主要事業を運営し、2020年には5億9,100万ユーロの売上高と調整済みEBITDAを1億2,000万ユーロとしました。Armacellは、技術機器用の断熱材、ハイテクおよび軽量アプリケーション向けの高性能フォーム、次世代エアロゲルブランケット技術に焦点を当てています。

詳細については、次のwww.armacell.comをご覧ください。

メディア&投資家の連絡先

Hilda Han
Marketing Communications Manager, APAC
+65 6661 0540
info.singapore@armacell.com